

# 北海道浮魚ニュース

平成 29(2017)年度 16 号

2017 年 8 月 24 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- ・分布密度は前年並み。
- ・魚体サイズのモードは 22cm。

- ・調査期間：2017 年 8 月 18～23 日
- ・調査海域：道東太平洋沿岸
- ・調査船：北辰丸（釧路水産試験場）
- ・調査方法：イカ釣機 5 台を用いた約 3 時間半の夜間操業

### 1. スルメイカの分布密度

スルメイカは道東太平洋の調査を行った 10 調査点で漁獲されました(図 1:左)。全調査点のスルメイカの分布密度(イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)は 0.1～1.3、平均分布密度は 0.60 で、前年(図 1:右)の 0.1～0.6、平均分布密度 0.29 と同様に 2001 年以降の全調査地点の平均分布密度と比較すると低い値でした(図 2)。

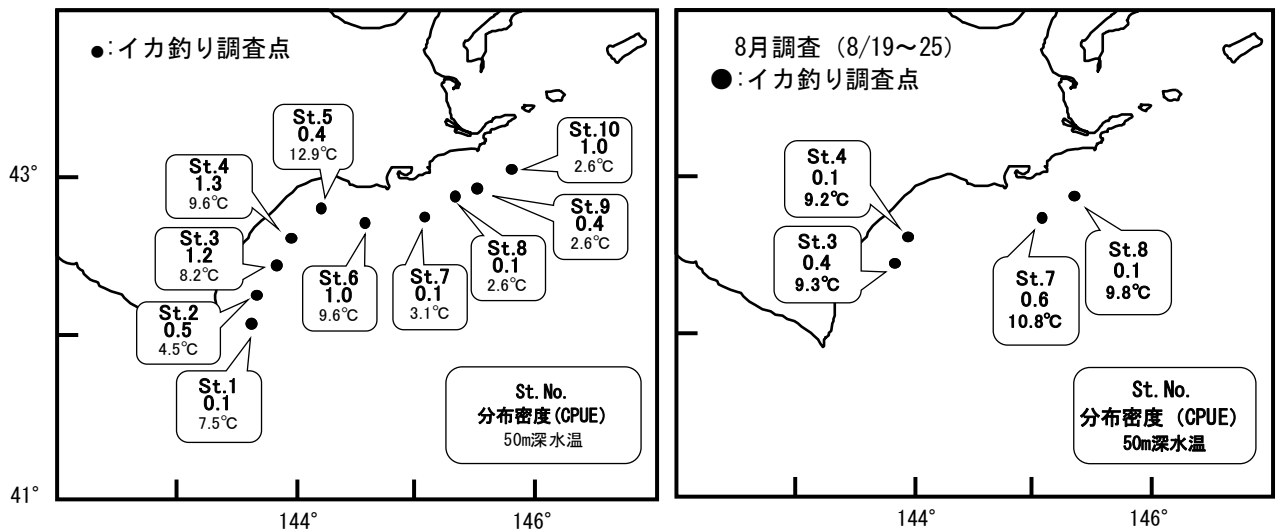


図 1 8月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と 50m 深水温  
(左：2017 年、右：2016 年)

※分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。

### 2. 水温

道東太平洋 10 調査点の表面水温は 16.5～18.6°C (前年:17.9～19.1°C) でした。

50m 深水温は 2.6～12.9°C (前年:9.2～10.8°C) でした。前年よりも表面、50m 深水温ともに低く、特に東部海域の 50m 深水温では 2.6～3.1°C と前年を大きく下回っています。

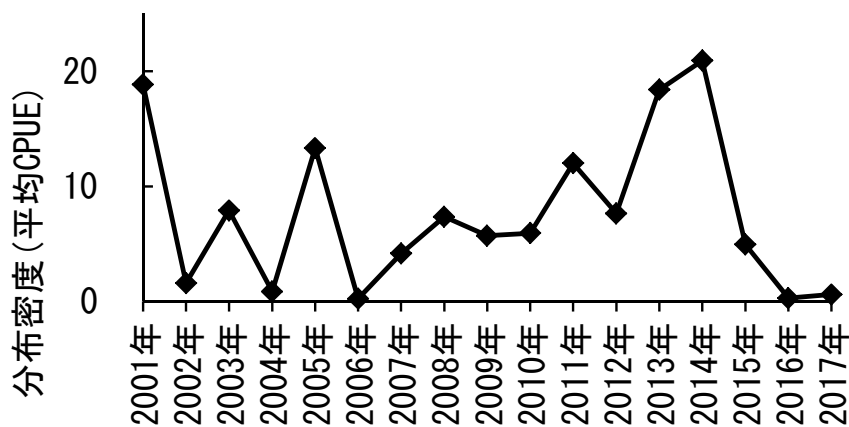


図2 8月の道東太平洋におけるスルメイカの平均分布密度

### 3. スルメイカの大きさ

全調査点での外套長(胴長)の組成を見ると、モード(モードとは最も多く漁獲されたイカの大きさ)は22cmと前年(20cm)よりも大きい個体が多く見られました(図3, 表1)。

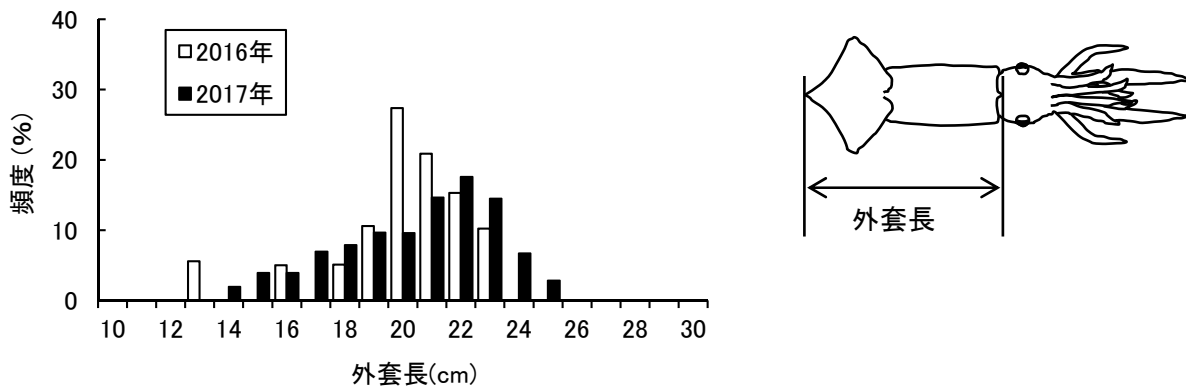


図3 8月に道東太平洋で漁獲されたスルメイカの外套長組成

表1 2007~2017年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2007年 8/21~28	607	4.16	16-25	20	8
2008年 8/25~29	1,197	7.35	13-23	19	8
2009年 8/18~23	418	5.70	15-24	20	10
2010年 8/17~26	1,212	5.93	16-23	19	10
2011年 8/16~25	2,190	12.00	14-26	21	10
2012年 8/20~28	996	7.64	16-25	20	10
2013年 8/20~28	2,672	18.39	18-28	21	10
2014年 8/21~26	2,607	20.92	17-26	21	10
2015年 8/20~26	809	4.94	17-27	21	10
2016年 8/19~25	19	0.29	13-24	20	4
2017年 8/19~23	95	0.60	14-25	22	10

CPUE (イカ釣機1台1時間当たりの漁獲尾数)

(釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)